



## カナダの ウィンター・スポーツ

一年のうち四カ月も雪におおわれているカナダでは、雪や氷を利用したスポーツが盛んである。それも、アイスホッケー、スキー、スノー・モビル・レース、カーリング、そり乗り競走、釣り、スケート……と多彩だ。

数あるウィンター・スポーツのうちでも、カナダ人に最も親しまれているのは、何といってもアイスホッケー。冬になると、小学生からプロの選手まで熱烈なアイスホッケー競技を展開し、国中が興奮のつぼと化する。真にカナダが発明した唯一のもの」と言われているように、カナダで生まれ、カナダで発展したアイスホッケーは、まさにカナダを代表するスポーツといえよう。(アイスホッケーは、十一世紀頃からイギリスやオランダで若者たちが氷結した沼地や川の上で滑っていたスケートと、中世の頃からイギリスなどで草の上を棒切れてポールを追

って遊んでいたフィールド・ホッケーがひとつになったもの。一八五五年のクリスマスの日に、オンタリオ州キングストンに駐屯していたカナダ・ライフル守備隊の隊員が、ブーツにスケートをはめ、フィールド・ホッケーのステッキとラクロス・ゲームのボールを借りてやったのが最初だといわれる。起源は同守備隊にステッキを貸したハリファックス駐屯の守備隊、あるいはモントリオールという説もあるが、いずれにしてもカナダで始まったことには間違いない。)

カナダ全体のアイスホッケー競技人口は、アマチュア・ホッケー協会に登録しているだけで七十万近くにはのぼる。およそ三十人に一人の割合である。この中から数々の優秀な選手が生まれた。元来カナダで組織されたナショナル・ホッケー・リーグ(NHL)をみると、十八チームのうちカナダのチームは三チームにすぎないが(残りはアメリカ)、選手の九五パーセントはカナダで技を磨いたカナダ出身で占める。

アイスホッケーと並んでポピュラーなウィンター・スポーツはスキー。スキー人口はおよそ二百万人―十人に一人―といわれ、カナダ各地では十一月から四月にかけてスキーを楽しむ人々が列をなす。カナディアン・ロッキーマウンテン、バンクーバー近郊、モントリオール近郊を中心に、

山岳(アルペン)スキー用のスキー場(宿泊施設完備)が三百以上もできているほか、これらの滑走コースとつないで、クロスカントリー・スキー路が何百キロにもわたって開発されている。戸外でウィンター・スポーツを楽しむ人々がふえていることから、このような施設は今後

もつと必要となろう。

スキーをするためにわざわざ外国からカナダを訪れる人も増えてきた。外国スキーヤーに特に好評なスキー場は、豪快なスロープと素晴らしいパウダー・スノーで知られるアルバータ州のバンフとジャスパー。ロッキーマウンテンの東端に位置するバンフには、カナダ国内で五指に入る最大規模のスキー場(ダウニング・ヒル・スキーの最大落差が六一〇メートル以上)を含め、

### ●世界フィギュア・スケート選手権大会● 来年はオタワで

1978年度世界フィギュア・スケート選手権大会は、来年3月2日から12日まで、カナダの首都オタワで開かれる。この大会には、今年3月の東京大会で活躍したコワレフ(ソ連)、ホフマン(東独)＝以上男子シングル、フラチアン、スミス(共に米国)、ポエツ(東独)＝女子シングル、モイセイワ、ミネコワ(ソ連)、トンプソン、マックスウェル(英国)＝アイスダンス、ロドニナ、ザイチェフ(ソ連)＝ペア、などの一流選手の参加が期待されている。

三つのスキー場がある。そのうち、テンブル・ホワイトホーン・スキー場は三二九二メートルのゴンドラなど、いくつものリフトでむすばれた三つの山面からなり、一日に八千人以上もの人々がすいすいと滑るほど広い。

主要スキー場の中でもつとも高いところ